

2017年度
農検2級

日本農業検定2級試験問題

全70問

試験時間60分

注意事項

監督者の指示があるまで、この問題を開いてはいけません。

問1

農耕についての説明で、間違っているものは次のうちどれですか。

- ① 現在、食用に利用している作物は野生の植物を長い年月かけて改良したものである。
- ② イネの栽培は、約1万年前、中国の長江流域で始まったとされている。
- ③ 穀物栽培の広がりは人口の増加をもたらし、都市が誕生して、各地に文明をもたらす重要な要素になった。
- ④ 農耕によって生産される穀物のうち、特に生産量の多いコムギ・米・ダイズは、世界の三大穀物と呼ばれている。

問2

農業の基本的な役割についての説明で、間違っているものは次のうちどれですか。

- ① 人々の生命を支える食料を安定的に生産すること。
- ② 適地適作で無理なく安全安心な食料生産を続けること。
- ③ 環境を保全しながら農作物を健全に育てること。
- ④ 土着天敵を駆除し、病害虫の被害を受けない作物を生産すること。

問3

世界的な食料需給についての説明で、間違っているものは次のうちどれですか。

- ① 地球温暖化などが原因となり、各地で干ばつや多雨などの極端な気象現象が発生し、穀物生産量が減少する危険性が警告されている。
- ② アメリカ、インド、中国などの穀倉地帯では、過度の地下水くみ上げによって灌漑水が^{かんがい}枯渇し、農産物の安定生産に支障が出てきた。
- ③ 新興国の穀物需要拡大が沈静化してきたので、世界全体の需給関係も落ち着いてきた。
- ④ 日本では、食料安全保障を確立するために、国内の農業生産を拡大するとともに輸入先の多角化、備蓄の確保等が必要となっている。

問4

「カロリーベース食料自給率」と「生産額ベース食料自給率」の説明として、間違っているものは次のうちどれですか。

- ① 「カロリーベース食料自給率」は、国民に供給される食料の重量をカロリーに換算して、全供給カロリーのうち国産でまかなわれたカロリーの割合を示したものである。
- ② 「生産額ベース食料自給率」は、供給される食料の重量を金額に換算して、国内全体の食料消費仕向け金額のうち、国内で生産される金額の割合を示したものである。
- ③ 日本の2015(平成27)年度のカロリーベース食料自給率は40%を切ったが、生産額ベースでは60%を超えている。
- ④ 生産額ベース食料自給率は、穀物に比べて単価は高いが、カロリーが低い野菜や果実の需給動向は反映されにくい。

問5

耕作放棄地についての説明で、間違っているものは次のうちどれですか。

- ① 日本全体の耕作放棄地は2015(平成27)年で42万3,000haに拡大し、これは富山県の全面積に匹敵する。
- ② 耕作放棄地面積のうち、半分は土地持ち非農家のものであり、それが年々拡大している。
- ③ 農地が耕作を放棄されることによって、耕作放棄された農地だけでなく、その周辺の農地にも雑草や病害虫、鳥獣による被害が増加してしまうことがある。
- ④ 耕作放棄地を解消するために、2014(平成26)年から国が農地を買い付け、希望する農家に売り出す農地集積バンクを設けた。

問6

2015(平成27)年度の農畜産物の需給状況についての説明で、正しいものは次のうちどれですか。

- ① 主食用の米は各県ともに過剰な作付けの解消につとめ、飼料用米や加工用米への転換を進めた。
- ② 野菜の国内需要は、加工用・業務用が約4割を占め、そのうちの2割に輸入野菜が使われている。
- ③ 果実の国内需要のうち、国産品は約6割で、輸入品は約4割である。
- ④ 畜産は、すべての畜種で飼養戸数の減少が続いており、1戸当たりの飼養頭羽数も減少している。

問7

農業・農村の環境保全機能についての説明で、正しいものは次のうちどれですか。

- ① 田んぼは、雨水を一時的に貯留する小さな治水ダムとして、洪水防止機能を担っている。
- ② 田畑は、自然との調和を図りながら手入れをすることで、豊かな一次的自然が形成される。
- ③ 田んぼのイネには、大気中に二酸化炭素と酸素を増やす大気の浄化機能がある。
- ④ 田畑は、貯留した雨水などの多くが、地下にゆっくり浸透して地下水となる土壌浸食防止機能を持っている。

問8

生産者と消費者の交流についての説明として、間違っているものは次のうちどれですか。

- ① グリーン・ツーリズムは、農山漁村での余暇活動をいい、消費者が農業・農村への関心を高めるとともに、農村の活性化にも大きな役割を果たしている。
- ② 農産物直売所は地産地消の拠点として、新鮮で安心・安全な農産物を消費者に提供している。
- ③ 農産物直売所はいろいろな形態で運営されているが、2014(平成26)年の年間販売金額は、JA(農業協同組合)が運営する直売所が全体の50%を超えている。
- ④ 生産者の農地を活用する体験農園は、消費者の健康増進、生きがいづくりの場として、また、消費者が農業への理解を深める場としての役割を果たしている。

問9

女性農業者の活躍についての説明で、間違っているものは次のうちどれですか。

- ① 2016(平成28)年では、基幹的農業従事者の50%以上を女性が占めている。
- ② 農村では、農産加工品づくりや農家レストランの運営など、女性による起業活動の範囲が広がっている。
- ③ 女性農業者による起業活動は、2014(平成26)年度には9,500件を超え、農村女性の経済的自立や地域社会の活性化に貢献している。
- ④ 生産と加工販売を一体的に行なう6次産業の場合、農業経営に女性が参画している経営体では、売り上げや収益力が向上する傾向にある。

問10

穀物需要の現状についての説明で、間違っているものは次のうちどれですか。

- ① アジア・アフリカを中心とする世界人口の増加によって穀物需要が増大している。
- ② 新興国の経済が成長し、食肉の消費量が増えてきたため、家畜の飼養頭数が増え、飼料に使う穀物の需要が伸びてきた。
- ③ かつてはトウモロコシの輸出国だった中国が、国内の穀物消費が増え、国内生産だけでは不足して急速に輸入大国に変わった。
- ④ 世界の食肉生産方式が、購入飼料を与えて多頭飼育する「加工型畜産」の反省から「自給飼料型畜産」へと転換した結果、飼料穀物の需要が減少してきた。

問11

2015(平成27)年度の日本の食料自給率(カロリーベース)についての説明で、間違っているものは次のうちどれですか。

- ① 食料自給率が低迷している理由には、生産しやすい米の消費が低下していることがあげられる。
- ② 飼料用穀物の生産量が増えてきたので、飼料用穀物を含んだ穀物自給率は40%を超えた。
- ③ 原料を海外に依存している油脂類の消費量が増えてきたことが、食料自給率を低下させている原因になっている。
- ④ 日本の食料自給率は韓国より低くなっている。

問12

物質循環における生産者・消費者・分解者の役割についての説明で、正しいものは次のうちどれですか。

- ① 生産者である植物は、窒素、リン酸、カリウムによって炭水化物をつくり出す。
- ② 消費者である動物は、植物がつくり出した炭水化物を取り込むことで生命活動をしている。
- ③ 分解者である菌類や小動物は、土壌の団粒構造を分解する。
- ④ 生産者である植物は、動植物の死がい分解し吸収する。

問13

農業生態系についての説明で、間違っているものは次のうちどれですか。

- ① 農業が行われることによって維持される生態系を農業生態系という。
- ② 作物に害を与える害虫や病原菌などが人の手によって排除されるので、農業生態系の物質循環は途切れにくく安定している。
- ③ 農業生態系では有機物が収穫物として生態系から持ち出されるため、人が生態系の外から窒素、リン酸、カリウムなどの物質を肥料として補給している。
- ④ 収穫と施肥という物質の出し入れがあるため、生態系は不安定になりやすい。

問14

農水省が導入を進めている環境保全型農業についての説明で、間違っているものは次のうちどれですか。

- ① 農業の持つ物質循環機能を生かして行う農業である。
- ② 無肥料、無農薬で環境に負荷を与えない農業である。
- ③ 環境と調和のとれた農業を行うために「農業環境規範」が示されている。
- ④ 農家は「農業環境規範」により、自らの農業を点検することが求められている。

問15 富栄養化についての説明で、正しいものは次のうちどれですか。

- ① 作物に含まれる栄養分が人体に健康被害を及ぼすほど多くなり過ぎた状態。
- ② 作物が吸収できない硝酸態窒素が土壌中に多く蓄積している状態。
- ③ 作物に吸収されず残った肥料成分などが地下水を通して湖水や川、海などに流れ込み、そこに含まれる栄養分が自然の状態よりも多くなり過ぎた状態。
- ④ 畑に肥料分が多く残り、雑草や害虫が大量に発生するなど自然界のバランスが崩れている状態。

問16 里地里山の説明として、間違っているものは次のうちどれですか。

- ① 雑木林、竹林、田んぼ、畑、ため池、牧地など人の手の入った自然と人里をまとめて里地里山と呼んでいる。
- ② 過度な利用を防ぐため、昔から里地里山は一部の個人が管理してきた。
- ③ 雑木林や田んぼ、ため池は人間が利用することはもちろん、さまざまな生物のすみかともなってきた。
- ④ 雑木林は薪などの燃料や飼料、肥料の供給源でもあった。

問17 「江」の説明として、間違っているものは次のうちどれですか。

- ① 水田周囲から流れ込む冷たい水を温めるための水路である。
- ② 新潟県佐渡市の水田では「江」を設置してトキのえさ場を作るとともに農薬や化学肥料を減らした米作りが行われている。
- ③ 年間を通して水があり、水田の中干し期でも生物が暮らすことができる。
- ④ 魚が産卵のために行き来できるように水田の周りに設置された魚道のことである。

問18 地球温暖化についての説明で、間違っているものは次のうちどれですか。

- ① 二酸化炭素の累積総排出量と世界平均地上気温の変化については、まだその関係は認められていない。
- ② 集中豪雨、台風、ハリケーンの大型化や発生頻度の増大は、地球温暖化が一因ではないかと考えられている。
- ③ アフリカでは近年大規模な干ばつが発生しているが、その原因は温暖化によるものと考えられている。
- ④ 日本では1990年代以降、高温となる年が頻発し、日焼け果実の被害が発生するようになっている。

問19

生物多様性を守るための国際的な取り決めとして、間違っているものは次のうちどれですか。

- ① 1971(昭和46)年にイランのラムサールで採択されたラムサール条約
- ② 2016(平成28)年に発効したパリ協定
- ③ 1973(昭和48)年にアメリカのワシントンで採択されたワシントン条約
- ④ 1993(平成5)年に発効した生物多様性条約

問20

生鮮食品や加工食品の出生を消費者に明らかにするために2013(平成25)年に策定された法律は、次のうちどれですか。

- ① 食品衛生法
- ② JAS法
- ③ 食品表示法
- ④ 健康増進法

問21

加工食品の表示についての説明で、正しいものは次のうちどれですか。

- ① 賞味期限は、開封後表示されている保存方法で保存した場合に、安全に食べられる期限のことである。
- ② 添加物は原則として物質名を原材料欄に表示することになっている。
- ③ 栄養成分はタンパク質、脂質、炭水化物、ビタミン、ナトリウム(食塩相当量)の5項目が義務表示となっている。
- ④ えび、かに、小麦、そば、卵の5品目がアレルギー物質を含む「特定原材料」として表示が義務付けられている。

問22

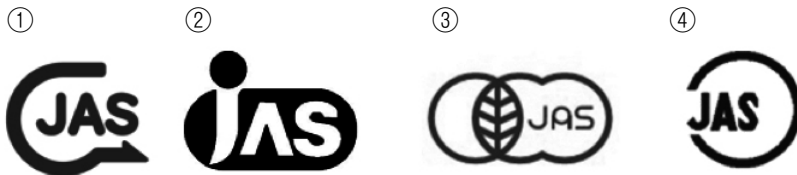
機能性表示食品の説明として、正しいものは次のうちどれですか。

- ① 健康の維持増進に役立つことが明白な食品で、都道府県の保健所に届出て許可を受けなければならない。
- ② 1日に必要な栄養成分(ビタミン、ミネラルなど)が不足しがちな場合、その補給補完のために利用される食品で、特に届出の必要はない。
- ③ 健康の維持増進に役立つことが科学的根拠に基づいて認められ、「コレステロールの吸収を抑える」などの機能性表示が許可されている食品で、消費者庁長官の許可証書が付けられる。
- ④ 事業者の責任において、科学的根拠に基づいた機能性を表示した食品で、消費者庁長官へ届け出る必要がある。

問23 食品安全委員会についての説明で、正しいものは次のうちどれですか。

- ① 牛乳による大量食中毒事件、BSE(牛海綿状脳症)の発生、原産地の偽装表示等の食の安全を脅かす事件が多発したことを契機に消費者庁に創設された。
- ② 厚生労働省、農林水産省と協力し、食品安全に関する政策作りを行う。
- ③ 農薬の最大残留基準値や食品の輸入基準の設定を行うなど、食品の安全を守るためのリスク管理を行う。
- ④ 関係行政機関から独立して、科学的知見にもとづき客観的かつ中立的に食品の安全に関するリスク評価を行う。

問24 インターネットやファクスで生産情報が確認できる食品に付けられている「生産情報公表」JASマークとして、正しいものは次のうちどれですか。



問25 食品の保存方法についての説明で、正しいものは次のうちどれですか。

- ① 「冷凍」による保存はマイナス0℃で保存することをいい、アイスクリーム類や冷凍食品はこの方法で保存する。
- ② 「冷蔵」による保存は約0℃～10℃で保存することをいい、肉や魚の他、野菜のうちナスはこの方法で保存する。
- ③ 「冷暗所」による保存は、暗くて涼しい場所で保存することをいい、低温にすると変質を起こしやすいヨーグルトや納豆などはこの方法で保存する。
- ④ 「常温」による保存は、平常の温度で保存することをいい、未開封の缶詰やレトルト食品はこの方法で保存する。

問26 食生活の改善に取り組むための「食生活指針10項目」が2016(平成28)年に改訂されました。この食生活指針に含まれていない項目は次のうちどれですか。

- ① ごはんやパンなどの炭水化物を極力控えて減量に努めよう
- ② 食塩は控えめに、脂肪は質と量を考えて
- ③ 主食、主菜、副菜を基本に、食事のバランスを
- ④ 1日の食事のリズムから、健やかな生活リズムを

問27

食物繊維は五大栄養素に続く6番目の栄養素と呼ばれています。その食物繊維の働きとして、間違っているものは次のうちどれですか。

- ① コレステロール値を正常化する。
- ② 便秘を予防・改善する。
- ③ 糖質の消化吸収を遅らせる。
- ④ エネルギー源となる。

問28

6つの基礎食品群のうち、1群の食品に含まれている栄養素やその働きとして、間違っているものは次のうちどれですか。

- ① エネルギー源になる。
- ② 筋肉などをつくる。
- ③ 脂質や無機質、ビタミン類も多く含む。
- ④ 大豆の加工食品である豆腐や味噌、納豆などはカロテンを多く含む。

問29

麹菌の説明として、正しいものは次のうちどれですか。

- ① カビの一種で自然界に普通に存在し、多くの発酵食品の元になっている。糖を分解してアルコールと二酸化炭素(炭酸ガス)を産生する。
- ② 枯草菌の一種で稲わらなどに存在する。熱に強くビタミンやアミノ酸、ポリグルタミン酸などの成分をつくりだす。
- ③ 糖を分解して乳酸を産生する。腸内に住む常在細菌でもあり、腸内環境を整える作用も持っている。
- ④ 糸状菌と呼ばれるカビの一種。蒸した米や大豆などに繁殖する特性を持ち、デンプンを糖に、タンパク質をアミノ酸に分解する働きをする。

問30

だしの種類と主な成分の組み合わせで、正しいものは次のうちどれですか。

- ① かつおだしーグルタミン酸
- ② 椎茸だしーイノシン酸
- ③ 煮干しだしーイノシン酸
- ④ 昆布だしーグアニル酸

問3 1

食事摂取基準についての説明で、間違っているものは次のうちどれですか。

- ① 日常生活の活動内容によって3段階に分け、年齢別、性別に必要なエネルギーや栄養素の推奨量を厚生労働省が示している。
- ② 国民の健康の保持・増進を図る上で、摂取することが望ましいエネルギー及び栄養素の量の基準が示されている。
- ③ 食物繊維の摂取目標量は1日平均19g(男性では20g、女性では18g)以上としている。
- ④ カルシウムの吸収では、ビタミンAが有効に働く。

問3 2

食中毒についての説明で、間違っているものは次のうちどれですか。

- ① 食中毒予防の原則は、「細菌をつけない」「細菌を増やさない」「細菌を殺す」の3つである。
- ② 食中毒の原因となる細菌やウイルスは温度と湿度が高いと増えやすいので、食中毒が発生するのは、梅雨時に集中する。
- ③ 食中毒の原因となる食品等は、腐敗と違い味にもにおいにも変化がなく、食べても異常に気がつかないのが特徴である。
- ④ 食中毒は、料理店での食事や給食などでの発生がメディアで大きくとりあげられるが、家庭の食事でも発生している。

問3 3

各地に伝わる郷土食について、都道府県との組み合わせが正しいものは次のうちどれですか。

- ① じゃっば汁…北海道
- ② ふなずし…大阪府
- ③ がめ煮…大分県
- ④ 金山寺みそ…愛知県

問3 4

種子についての説明で、正しいものは次のうちどれですか。

- ① トマトやネギは無胚乳種子で、エンドウやカボチャは有胚乳種子である。
- ② 種子を良い環境で保存した場合の寿命は、トマトは1～2年と短命であるが、ニンジンでは4～5年と長命である。
- ③ 種子を長く保存するためには、乾燥・低温条件で保存することが大切である。
- ④ 種子の胚は最初の葉になる本葉、最初の根になる細根、それらをつなぐ胚軸からなっている。

問35

光合成作用についての説明で、間違っているものは次のうちどれですか。

- ① 植物は光合成作用によってデンプンなど炭素を含む有機物をつくり出している。
- ② 植物がつくる1日の光合成量は、光の受け方や気温によって影響を受ける。
- ③ 光合成は暗い夜でも気温が高くなると行われている。
- ④ 動物は光合成作用が出来ないが、植物がつくりだした有機物を利用することによって、動物自身の有機物をつくり出している。

問36

気孔についての説明で、間違っているものは次のうちどれですか。

- ① 気孔が開くことによって、酸素の吸収が活発になり、それに伴って光合成が盛んになる。
- ② 気孔が開くことによって、葉からの蒸散が多くなり、根からの水分や養分の吸収も盛んになる。
- ③ 気孔は2つの孔辺細胞の動きによって開閉が行われている。
- ④ 植物は体内の水分が少なくなると気孔を閉じることによって蒸散を抑えている。

問37

イチゴの花芽分化についての説明で、間違っているものは次のうちどれですか。

- ① イチゴは、日が長くなると花芽分化する長日植物である。
- ② イチゴは、およそ10℃以下の低温では日長に関係なく花芽分化する。
- ③ 30℃近い高温になると花芽分化しなくなる。
- ④ 花芽分化を促進し、開花時期を早めるために、高温期の高冷地での育苗や冷蔵コンテナに入れる夜冷育苗などが行なわれている。

問38

花のつくりについての説明で、正しいものは次のうちどれですか。

- ① 植物の花には、ひとつの花に雄しべと雌しべをもつ両性花と、雄しべだけをもつ雄花、雌しべだけをもつ雌花が別々に咲く単性花がある。
- ② 両性花は、花の中心に雄しべがあり、そこから外に向かって雌しべ、花弁、がくが付いている。
- ③ カボチャやキュウリの花は、ひとつの花に雄しべと雌しべをもつ両性花である。
- ④ トマトやイチゴの花は雄花と雌花が別々に咲く単性花である。

問39

農業への気象災害とその対策についての説明で、間違っているものは次のうちどれですか。

- ① 強風害や水害を伴う台風による被害は、わが国の気象災害のうちで最も大きい。
- ② 夏季の低温や日照不足によって起こる冷害は、イネに多くの被害をもたらす。
- ③ イネの冷害に対しては、^{あさみずかんがい}浅水灌漑が有効とされている。
- ④ 茶園では送風機によって上空の暖気を茶園に送り込み、霜害を防いでいる。

問40

雨よけ栽培の説明として、間違っているものは次のうちどれですか。

- ① トマトなど露地栽培の野菜の上にプラスチックフィルムの屋根をかける栽培法である。
- ② 夏の強い日差しをさえぎり、トマトの日焼け障害を防止することができる。
- ③ 雨よけによって、高湿度で発生し雨で伝染する病気^{えきびょう}(疫病など)の発生を抑えることができる。
- ④ 雨よけ栽培は、野菜栽培以外では行われていない。

問41

おもな病害とその防除についての説明で、間違っているものは次のうちどれですか。

- ① 作物の病気は、カビ、細菌、ウイルスなどを病原体とし、なかでもカビの1種である糸状菌によるものが8割を占めている。
- ② 糸状菌による病気は、うどんこ病など「空気伝染性」のものと、根こぶ病など「土壌伝染性」のものがある。
- ③ 軟腐病などの原因となる細菌は、バクテリアとも呼ばれ、雨や風によって運ばれ、作物の葉の気孔や傷口から侵入して病気を引き起こす。
- ④ モザイク病を引き起こすウイルスは、細菌よりも極小で、専用の農薬以外に防除の方法はない。

問42

作物が育ちやすい土壌の物理性の説明として、間違っているものは次のうちどれですか。

- ① 作物の根が育ちやすい土壌は、固相(固形部分)が60%、液相(液体部分)が20%、気相(気体部分)が20%の割合の土壌だといわれている。
- ② 単粒構造の土壌は、砂や粘土などの細かい粒子が均一に組成されている土壌のことで、粘土質では排水性や通気性が悪く、砂質では保水性が悪い。
- ③ 粘土や砂、有機物が適度に混ざった団粒構造の土壌は、水はけや通気性がよくなるとともに、団粒内の微細なすき間によって、水もちもよくなる。
- ④ 単粒構造の土壌を団粒構造に変えていくためには、有機物を投入して土壌に腐植を増やすことが大切である。

問43

土壌の酸度(pH)の説明として、正しいものは次のうちどれですか。

- ① 多くの野菜は、土壌のpHが7の中性を好む。
- ② pHが5程度より低下すると、土中のアルミニウムが水に溶けにくくなり、根の生長を悪化させる。
- ③ pHが低下するとアルミニウムがリン酸と結びつくので、施したリン酸が作物に吸収されにくくなる。
- ④ 鉄やマンガンは、酸性が強まると急に溶けにくくなり、作物に欠乏症状を引き起こす。

問44

化学肥料についての説明で、間違っているものは次のうちどれですか。

- ① 速効性で肥効が高く、分量がはっきりしていて施肥量の調節がしやすい。
- ② 施肥に労力がかからず、有機質肥料と比べて値段が安い。
- ③ 高度化成は土壌を団粒構造にする働きが強い。
- ④ 水溶性で速効性のものが多いので、過剰施肥による環境汚染源となりやすい。

問45

野菜の連作障害についての説明で、正しいものは次のうちどれですか。

- ① 連作障害とは、毎年同じ畑で同じ作物を続けて栽培すると、生育不良になったり、収量・品質が低下することをいう。
- ② 連作障害が出にくい野菜には、トマトやエンドウなどがある。
- ③ 連作をさけて、休栽期間を長くとる必要があるのは、サツマイモやカボチャである。
- ④ 連作障害を防ぐためには、例えばトマト→ジャガイモ→ナスというように異なる種類の野菜を栽培するとよい。

問46

育苗や移植栽培の利点として、間違っているものは次のうちどれですか。

- ① ひ弱な幼少期を、ハウス内で手厚く管理でき、虫害、悪天候を避けられる。
- ② ハウス内で発芽に最適な条件を与えられるので、発芽がよくそろう。
- ③ 本畑での生育期間が長くなるので、収量・品質が向上する。
- ④ 前もって育苗することによって、間引きの手間が少なくなり、種代も節約できる。

問47

野菜の科名、食用部位別分類に対応した野菜名がすべて正しいものは、①～④の組合わせのうちどれですか。

	アブラナ科		ウリ科	ナス科	
	葉菜類	根菜類	果菜類	果菜類	根菜類
①	ハクサイ	カブ	トマト	カボチャ	サツマイモ
②	コマツナ	ショウガ	キュウリ	トウガラシ	サトイモ
③	レタス	ゴボウ	オクラ	イチゴ	ニンジン
④	キャベツ	ダイコン	スイカ	ピーマン	ジャガイモ

問48

セル成型苗についての説明で、間違っているものは次のうちどれですか。

- ① セル成型苗は、小さなポット(セル)が数多く連なった容器(セルトレイ)で育てられた苗である。
- ② セル成型苗は、ポットを小さくすることで、根鉢の形成を遅らせることができる。
- ③ 大きなポット苗に比べて、育苗に広い面積を必要としない。
- ④ セル苗用の定植機も開発されて、省力化が進みつつある。

問49

作物への追肥についての説明で、間違っているものは次のうちどれですか。

- ① 生育のため吸収された肥料成分を補給する。
- ② 降雨や灌水で流れた肥料成分を補給する。
- ③ 作物の生育段階に応じて必要な肥料成分を補給する。
- ④ 追肥は作物に害が出ないように、緩効性肥料を施す。

問50

土寄せについての説明で、間違っているものは次のうちどれですか。

- ① 新しい根の発生をうながし、株の倒伏を防ぐために行う。
- ② カブでは食用部位の霜害を防ぐために行う。
- ③ 土寄せによって雑草の発芽を抑えることができる。
- ④ 根深ネギの土寄せは一度にたくさん土を寄せ、1回ですませる方が効果が高い。

問5 1

イネの種もみの準備と育苗についての説明で、間違っているものは次のうちどれですか。

- ① 芽出しとは、種まきの前に種もみの芽を約1mmまで発芽させることをいう。
- ② 出芽とは、発芽した芽が約1cmに成長し、地表に芽が出てきた状態をいう。
- ③ 出芽後は、寒冷紗や不織布などで覆い、光にならすために2~3日間弱光下で育てる。
- ④ 覆いをはずして、苗を外気温にならし、最後に自然条件下で生育させる作業を緑化という。

問5 2

イネの施肥作業についての説明で、正しいものは次のうちどれですか。

- ① 基肥を表層施肥する場合は、肥料を施してから、作土全体に肥料が混ざるように耕起する。
- ② 1穂のもみ数を増やすため穂が出る前に施す肥料を「実肥」という。
- ③ イネの分けつを促す「分けつ肥」は移植後15~30日頃に施す。
- ④ もみを充実させるため穂が出た後に施す肥料を「穂肥」という。

問5 3

サツマイモの栽培についての説明で、正しいものは次のうちどれですか。

- ① 過度の窒素肥料のほか、植え付け後の高温乾燥などもツルボケの原因となる。
- ② 水平植えは穂先の葉まで土の中に入れて植え付け、船底植えは穂先の葉が外に出るよう植え付ける。
- ③ 土寄せの目的は、サツマイモの肥大を促すことである。
- ④ 収穫後、時間がたつほどイモに含まれている糖度が減るのでできるだけ早く食べた方がよい。

問5 4

ジャガイモの病害対策についての説明で、間違っているものは次のうちどれですか。

- ① 病気の拡大を防ぐために種イモの検査が行なわれているので、検査に合格している種イモを使用する。
- ② イモが土の表面に出ってしまうと病気にかかるので、それを防ぐために土寄せを行う。
- ③ 土寄せの際にうねにくぼみができると水が溜まり病気にかかりやすくなるので、くぼみができないように十分注意して行う。
- ④ 「そうか病」を予防するため、土がpH5以下になっていない限り、苦土石灰は施さない。

問55 ダイコンについての説明で、正しいものは次のうちどれですか。

- ① 白首ダイコンは、根がすべて白く、漬物などへの利用が多い。
- ② 青首ダイコンの代表的な品種は「三浦ダイコン」や「練馬ダイコン」である。
- ③ 肥大した胚軸部が地上に伸び出す性質のことを伸根性という。
- ④ 移植は本葉が出始めてから行くと、根が曲がってしまうので子葉が出てきたらすぐに行う。

問56 ニンジンについての説明で、正しいものは次のうちどれですか。

- ① ニンジンの食用部位は、根の師部は肥大せず、根の木部が肥大したものである。
- ② 岐根は根の直下に濃い化成肥料や未熟堆肥があると発生しやすい。
- ③ 根に割れ目が生じる裂根は、根の外部が内部より成長が早いと生じやすい。
- ④ ニンジンの種子は嫌光性種子なので、播種後、覆土が薄いと発芽しにくい。

問57 ネギの品種とその特徴についての説明で、間違っているものは次のうちどれですか。

- ① 軟白化させた葉鞘を食べるネギを根深ネギといい、緑の葉の先端部まで食べるネギを葉ネギという。
- ② 根深ネギはおもに関東で、葉ネギはおもに関西で食べられていたが、現在は全国で両方のネギが食べられるようになった。
- ③ 根深ネギのうち、加賀ネギと呼ばれるタイプは寒さに弱く、冬に成長が止まる。
- ④ 根深ネギのうち、千住ネギと呼ばれるタイプは、夏だけでなく冬にも成長する。

問58 ネギの葉鞘の軟白化についての説明で、正しいものは次のうちどれですか。

- ① 土を寄せる方法では、収穫3~4日前に最後の土寄せを行ない、軟白化を促す。
- ② 土を寄せて栽培する方法では、土寄せを終えた後にうね間に追肥を施す。
- ③ 穴底に植える方法では、うねに黒マルチをかけた後、深さ30cm、直径3cm程度の穴をあけ、そこに苗を1本ずつ挿しこむだけで、収穫まで土寄せはしない。
- ④ 軟白に要する期間は気温が低い時は早く、気温が高い時は遅くなる。

問59

ハクサイの栽培についての説明で、間違っているものは次のうちどれですか。

- ① ハクサイは過湿に弱いので、土は良く耕し、排水性を良くしておく。
- ② 土壌がアルカリ性に近づくと病気が発生しやすくなるので、石灰は少なめに施す。
- ③ ハクサイは種子感応型の野菜で、発芽活動を始めた種子が低温に感応して花芽を分化する。
- ④ 直接、根に肥料が当たると根が傷みやすいので、追肥の際は根の成長に合わせて外側に施す。

問60

ブロッコリーについての説明で、間違っているものは次のうちどれですか。

- ① 収穫した花蕾のサイズによって、頂花蕾と側花蕾に分けられている。
- ② 側花蕾型の中には、花茎が長さ15~20cm位に細く柔らかく伸びるタイプのものがある。
- ③ 頂花蕾型は、花蕾の直径12~15cmくらいが収穫の目安で、開花しないうちに収穫する。
- ④ 花蕾の発育中に30℃以上の高温に連続して合うと花蕾の中に小さな葉が出ることもある。

問61

ホウレンソウの栽培についての説明で、間違っているものは次のうちどれですか。

- ① 種子は、そのままでは発芽しにくいので、一晩水に浸けて発根させてから播種するとよい。
- ② ホウレンソウは短日条件によって花芽分化し、とう立ちする。
- ③ 細根が少ないので種子は直まきにする。まくときは1cm間隔のすじまきにしておくとあとの間引きがしやすくなる。
- ④ 秋まきの場合は収穫期に4℃以下の気温に1~2週間当てると甘みが出て美味しくなる。

問62

カボチャの栽培についての説明で、間違っているものは次のうちどれですか。

- ① カボチャの人工授粉では、花粉の寿命が短いので、花が咲いた日の朝9時頃までに行なう。
- ② 果実の表面を均一に着色させるために、果実をまっすぐに置き直す作業を「玉直し」という。
- ③ 果実の着色を良くするためには、果実の色が濃くなり始めたら、果実に直射日光がしっかり当たるよう周囲の葉を除去するとよい。
- ④ 果実のへたの部分が茶色っぽく縦にヒビ割れし、コルク化したら収穫期である。

問63

キュウリのブルームについての説明で、間違っているものは次のうちどれですか。

- ① キュウリの果実につく白い粉は「ブルーム」と呼ばれ、水分の蒸発を防ぐ働きがある。
- ② 現在では、ブルームのないキュウリ(ブルームレスキュウリ)が販売の主流となっている。
- ③ ブルームレスキュウリは、ブルームのあるキュウリと比較すると、果皮に厚みと光沢がある。
- ④ ブルームレスキュウリは、ブルームの主成分であるケイ酸の吸収が少ない品種である。

問64

スイカの栽培についての説明で、正しいものは次のうちどれですか。

- ① スイカには雌花、雄花および両性花があり、その割合は品種や栽培環境などで異なる。
- ② スイカは、子ヅル3~4本仕立てを目安に、10節目までに着果させるとよい。
- ③ 果実が鶏卵大になったら変形果や傷果を摘果し、きれいな球形の果実を残す。
- ④ スイカの人工授粉は夕方日差しが弱まってから行うとよい。

問65

スイートコーンの受粉についての説明で、正しいものは次のうちどれですか。

- ① スイートコーンは雌雄異花で、茎の頭に雄穂が分化し、わき芽が雌穂へと分化する。
- ② 雄穂から伸び出す雄しべのことを絹糸という。
- ③ 株が混み合うと受粉しにくいので、1条植えにするとよい。
- ④ スイートコーンの花は虫の助けで受粉する虫媒花である。

問66

トマトの着花習性についての説明で、間違っているものは次のうちどれですか。

- ① 多くのトマトでは、最初の花は本葉7~10枚目ころの節の間に咲く。
- ② 花は1カ所に複数の花がまとまって咲くため、その全体を花房と呼んでいる。
- ③ 花房がつく場所を「段」といい、下から1段、2段、3段と数えていく。
- ④ トマトの花房がつく位置はおよそ90度ずつずれていく。

問67 ナスの栽培についての説明で、正しいものは次のうちどれですか。

- ① 一番花が咲いた近くから出てくる勢いの良いわき芽2本と主枝を伸ばして育てる方法を「3本仕立て」という。
- ② 根は浅く広く張るので、耕す深さは10～20cmを目安にする。
- ③ 更新剪定の際の追肥は、根を切らないよう注意して行なう。
- ④ ナスは栄養状態が不良になると、雌しべが雄しべより長くなるので、これを追肥の目安とする。

問68 ピーマンの栽培についての説明で、間違っているものは次のうちどれですか。

- ① 定植に適しているのは、一番花が開き始めた頃の苗である。
- ② 枝が横に広がると、花はつきやすくなるが株の勢いはなくなり、枝が上に伸びると、株の勢いは強くなるが花のつきは悪くなる。
- ③ 一番花の基部から出ている2～3本の側枝を伸ばし、それより下のわき芽はすべて取り除く。
- ④ ピーマンの花は、トマトと同じように節と節の間に咲く。

問69 ダイコンの栽培についての説明で、間違っているものは次のうちどれですか。

- ① ダイコンのように直根性の野菜は、移植すると根が傷むため直まきで栽培する。
- ② 発芽後、1回目の間引きでは子葉の形が変形している株を間引く。
- ③ 害虫対策として、2回目の間引きまでは、防虫用のネットをかぶせるとよい。
- ④ 追肥は本葉が3枚出てきた時から収穫2週間前まで2週間に1回、吸収しやすいように株元に施す。

問70 接ぎ木苗についての説明で、正しいものは次のうちどれですか。

- ① 接ぎ木栽培は、明治時代にキュウリで初めて実用化された日本発の技術である。
- ② 根が丈夫で病気に強いものを台木に、味が良いなど優良な生産を得られるものを穂木に使う。
- ③ 穂木と台木は、必ず同じ種類の植物を使わなくてはならない。
- ④ 接ぎ木栽培は、スイカやキュウリなどウリ科野菜で行なわれているが、ほかの野菜類ではまだ技術が開発されていない。

日本農業検定